

新中間処理施設における二酸化炭素排出量等について

中間処理施設稼働に係る比較表

項目	単位	現施設		新施設	現施設(R1) ⇒ 新施設比較	
		当初計画値	R1年度			
年間ごみ処理量	t/年	60,400	43,605	43,572	▲ 33 t	
燃料	灯油	kL/年	85	586	0	使用燃料 灯油 ⇒ A重油 (※)
	A重油	kL/年	0	0	54	
電力	買電量	kwh/年	432,000	653,033	275,000	▲ 378,033 kwh/年
	売電量	kwh/年	580,000	939,916	8,593,000	+ 7,653,084 kwh/年
外部へ熱供給	GJ/年	64,548	12,316	9,471	▲ 2,845 GJ/年	
外部へ電気供給	kwh/年	0	0	788,400	+ 788,400 kwh/年	

(※) 燃焼方式の変更(キルン式→ストーカ式)、及び、発熱量が重油のほうが優れることから変更。

CO2排出量比較表

項目	単位	現施設		新施設	現施設(R1) ⇒ 新施設比較	
		当初計画値	R1年度			
エネルギー起源CO2排出量	灯油	t-CO2/年	212	1,459	0	▲ 1,521 t-CO2/年
	A重油	t-CO2/年	0	0	147	
	電気	t-CO2/年	240	362	153	
	計	t-CO2/年	452	1,821	300	
廃プラ起源CO2排出量	t-CO2/年	20,232	20,150	19,008	▲ 1,142 t-CO2/年	
熱回収減量	電気売電	t-CO2/年	322	522	4,769	+4,247t-CO2/年
	電気供給	t-CO2/年	0	0	438	+438t-CO2/年
	熱供給	t-CO2/年	3,679	702	540	▲ 162 t-CO2/年
CO2の総排出量	t/年	16,683	20,747	13,561	▲ 7,186 t-CO2/年	
ごみ1tあたりのCO2排出量	t	0.276	0.476	0.311	▲ 0.16 t-CO2/年	

CO2排出量については「廃棄物処理部門における温室効果ガス排出抑制等指針」を基に算出。

◎CO2排出量比較表(下の表)について、計算に過誤があったため修正を行いました。

－修正内容－

CO2の総排出量に、エネルギー起源CO2排出量が二重で合算されていたため修正

計算式 : 誤 総排出量 = エネルギー起源 + エネルギー起源 + 廃プラ起源 - 熱回収減量

正 総排出量 = エネルギー起源 + 廃プラ起源 - 熱回収減量

当初計画 17,135 ⇒ 16,683

R1 22,568 ⇒ 20,747

新施設 13,861 ⇒ 13,561

上記の表は修正後の数値を掲載しています。